



教育分野における就労支援の 現状と課題について —養護学校の実践から—

東京都立あきる野学園養護学校
原 智彦

養護学校における 就職支援の取り組み

- 都立あきる野学園における現状
- 全国及び東京都における現状
- 就職先（職域）の傾向（東京都）
- 就業体験の段階について



あきる野学園は部門併置型の養護学校

肢体不自由部門の通学区域
青梅市、羽村市、福生市、奥多摩町

埼玉県

知的障害部門の通学区域
昭島市、福生市（一部調整区域）

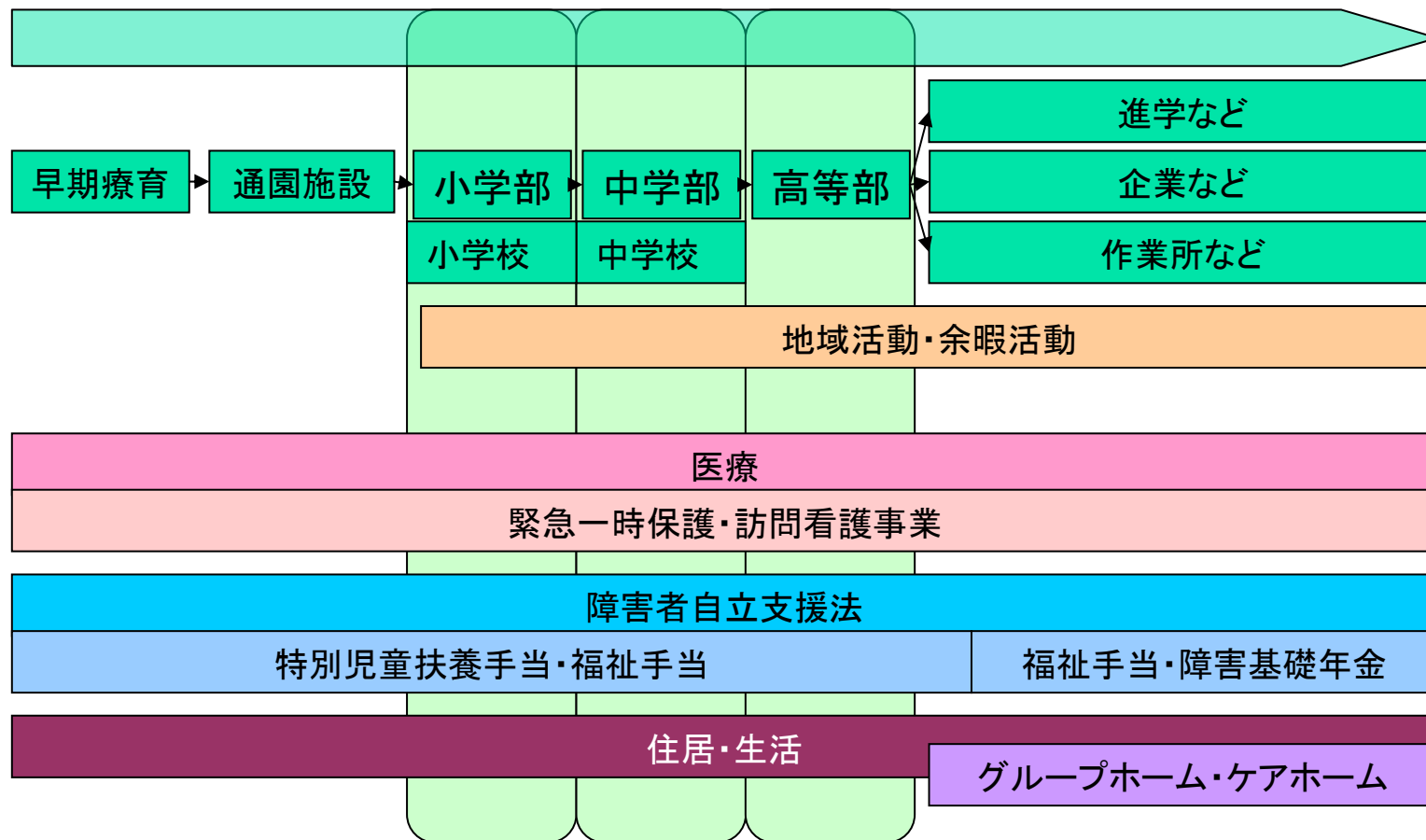
山梨県

両部門共通の通学区域
あきる野市、日の出町、檜原村

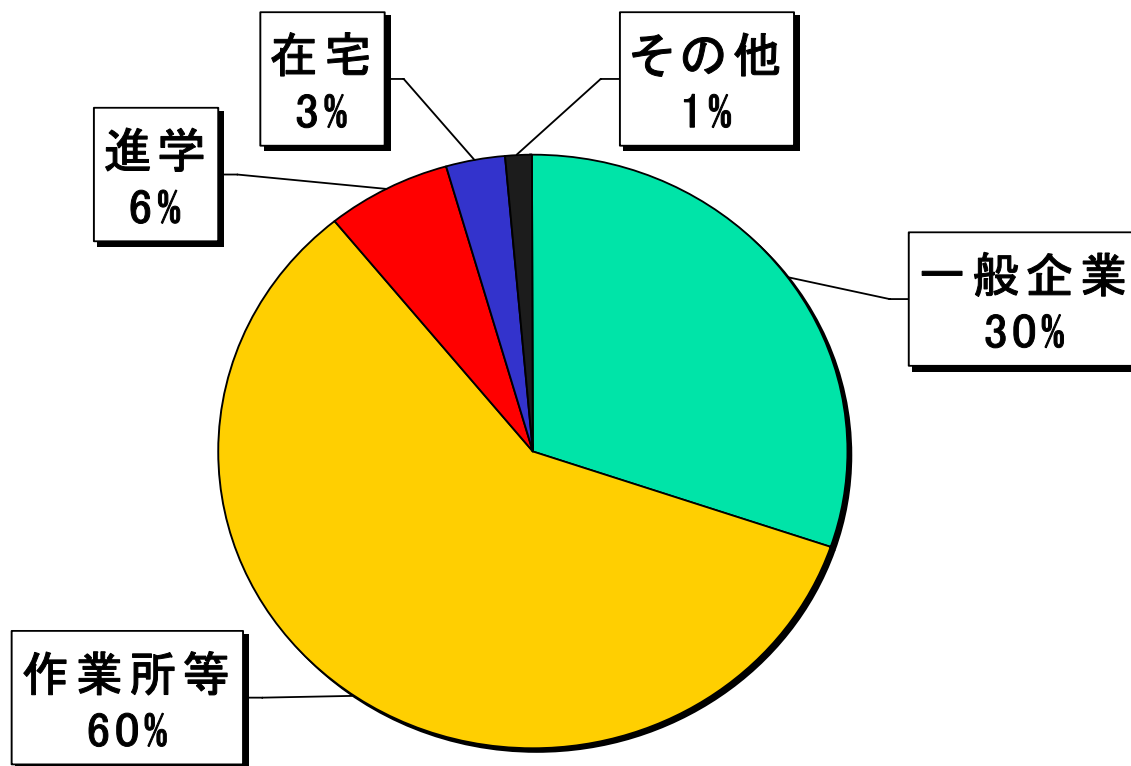
神奈川県

学区域は東京都の面積で1/4、人口は3.8%

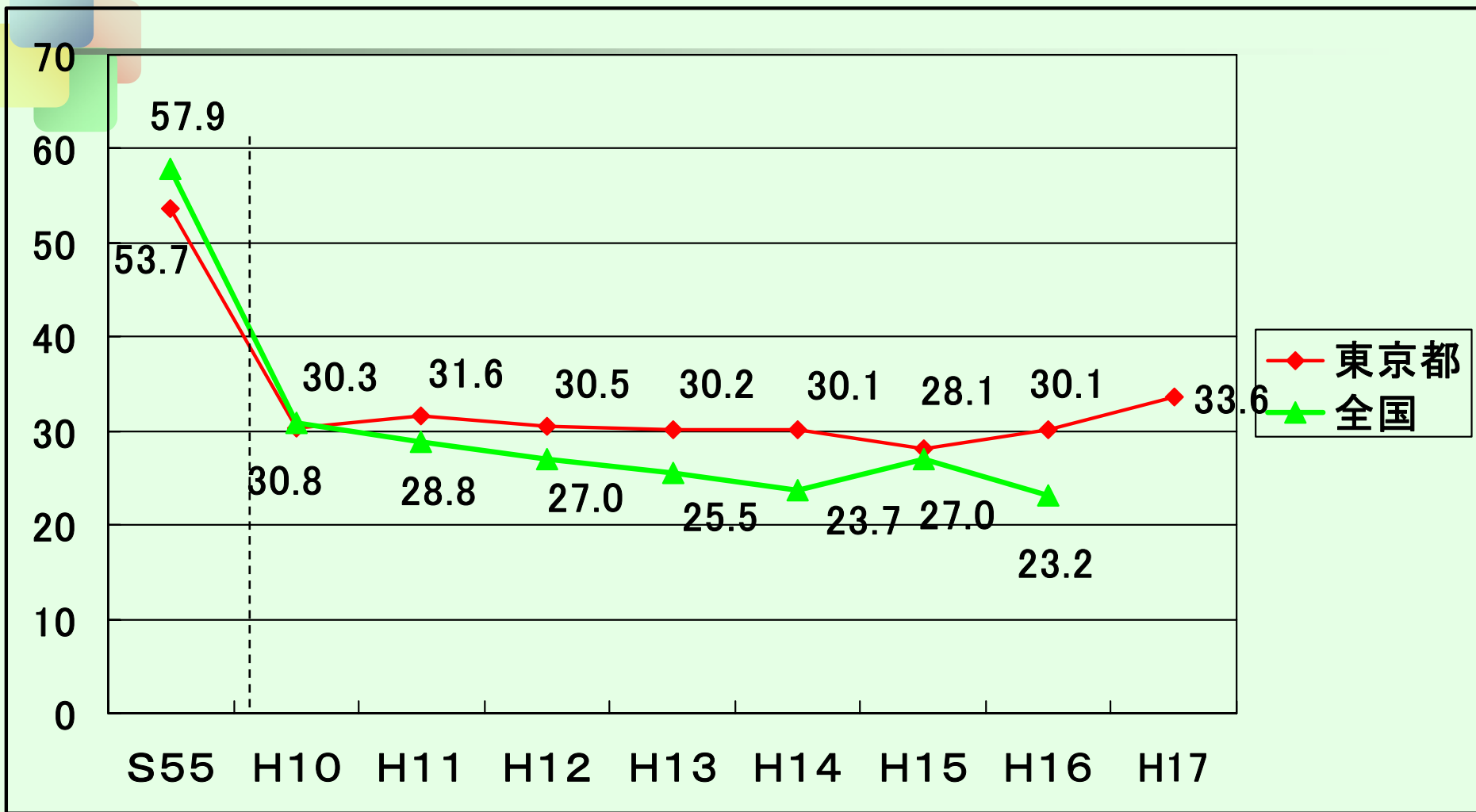
児童・生徒のライフステージ



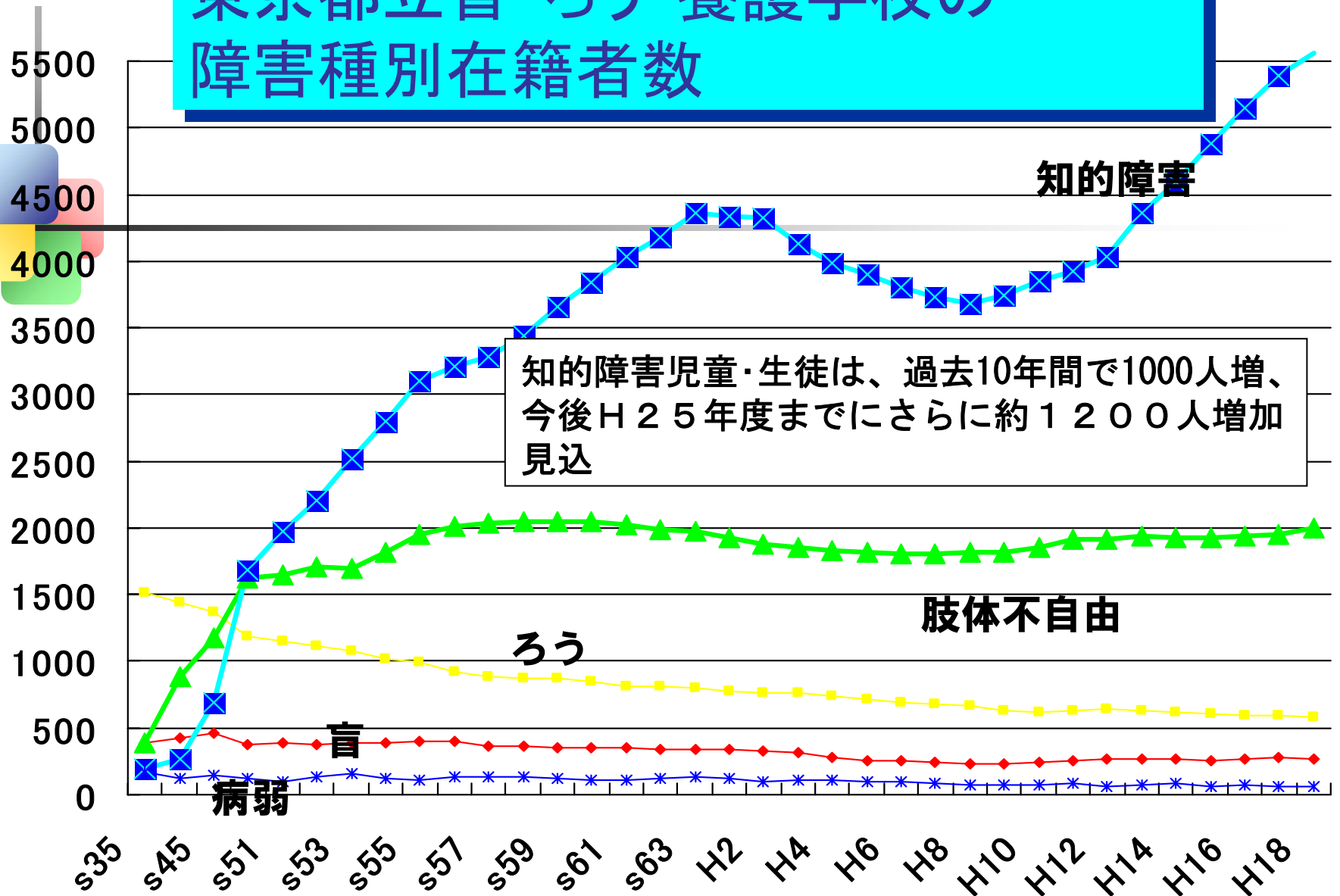
本校高等部卒業生の進路状況



知的障害養護学校高等部卒業生 企業就労率



東京都立盲・ろう・養護学校の 障害種別在籍者数



● 盲学校 ■ ろう学校 ▲ 肢体不自由 ◆ 知的障害 * 病弱

都立知的障害養護学校における 就業促進等の取り組みの実際と課題

～知的障害養護学校高等部の進路指導の現場から～

	S55	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17
企業就労数 /卒業生総数 (東京都)	122 /227	211 /696	223 /705	198 /649	214 /709	211 /702	224 /795	243 /805	304 /904
就業率(%) (東京都)	53.7	30.3	31.6	30.5	30.2	30.1	28.1	30.1	33.6



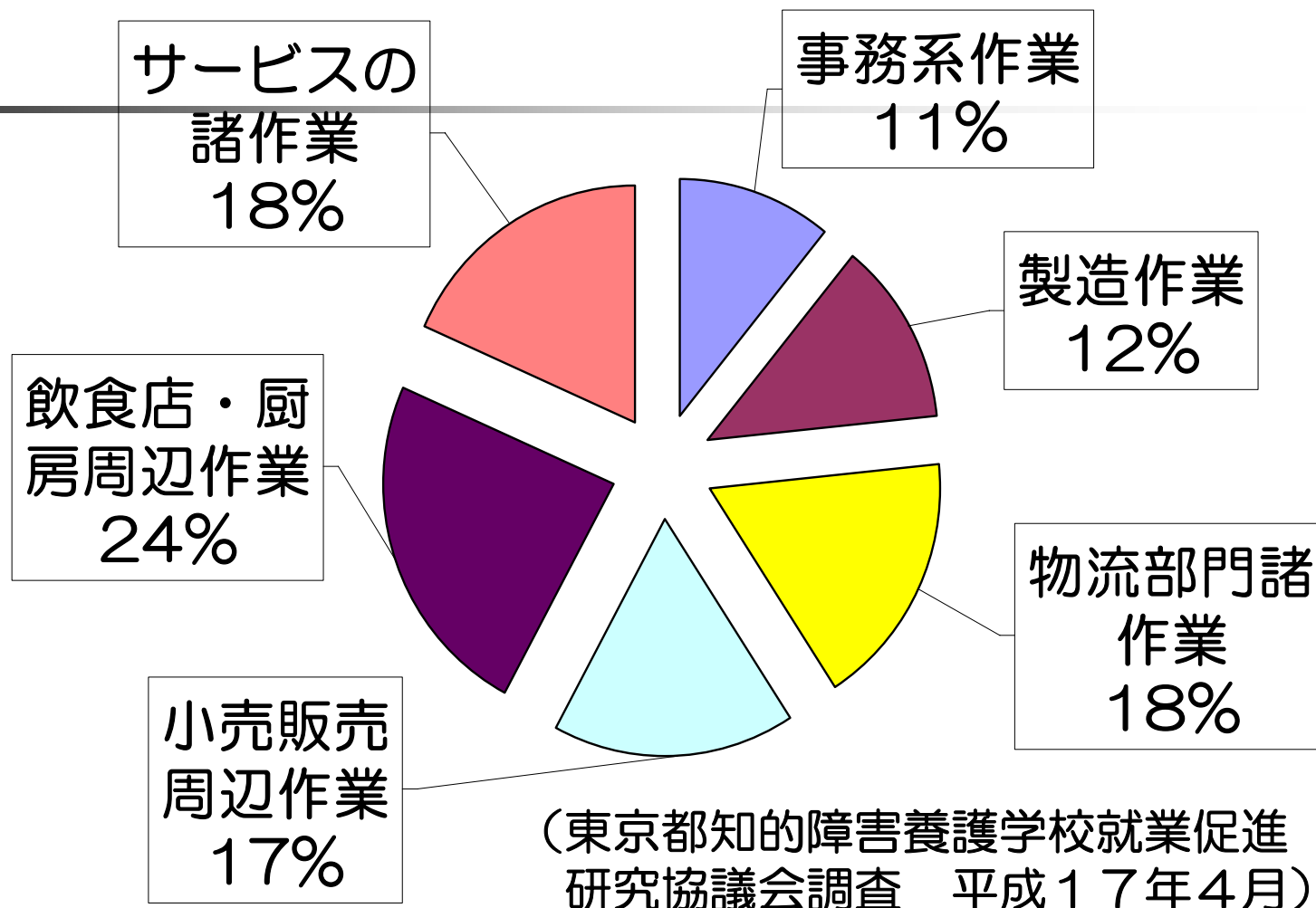
高等部生徒が実習で取り組む仕事内容

事務系作業	パソコン入力、社内メール等の仕分け、庶務・軽作業等
製造作業	ライン作業、成型機操作等
物流部門諸作業	入庫検品・棚入、ピッキング、発送準備・梱包作業等
小売販売周辺作業	商品のパック・袋詰、品出し、商品の陳列・整理、接客等
飲食店・厨房周辺作業	店内フロア清掃、調理器具・食器類等の洗浄作業、盛り付け、調理補助、接客等
サービスの諸作業	クリーニング、リサイクル、清掃、介護・用務等での補助作業

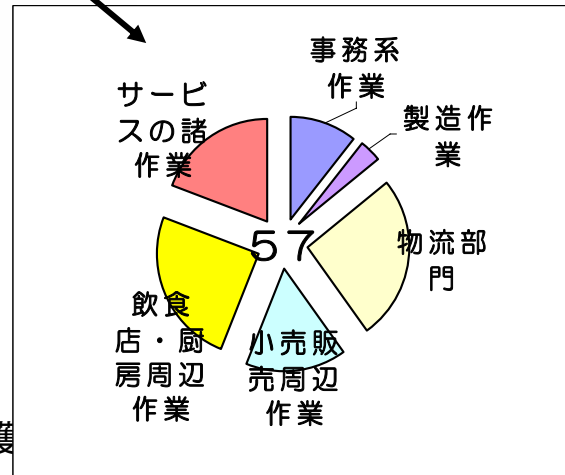
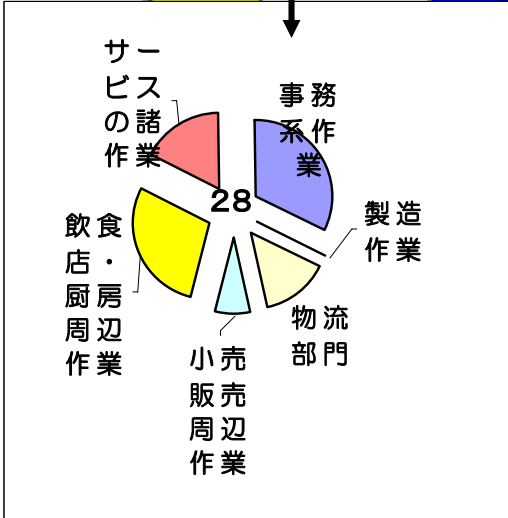
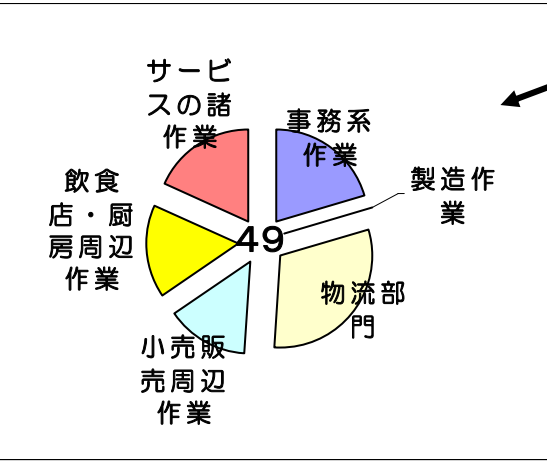
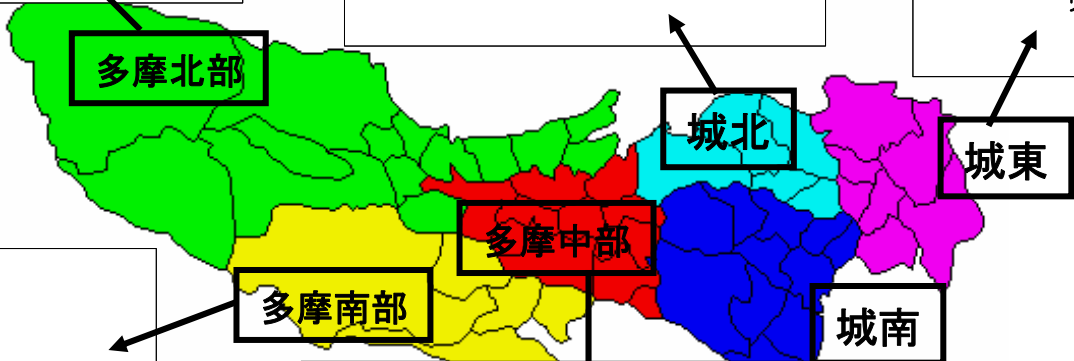
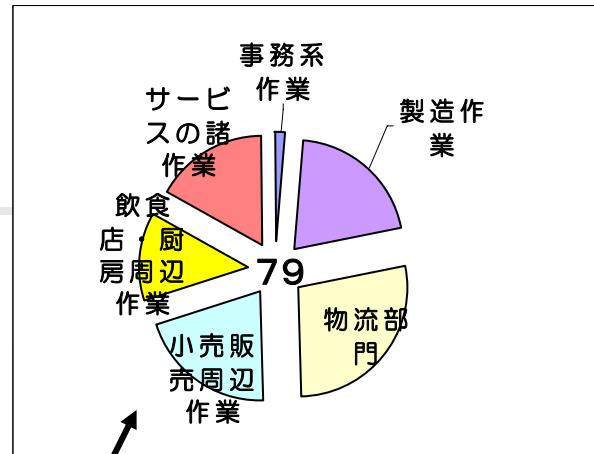
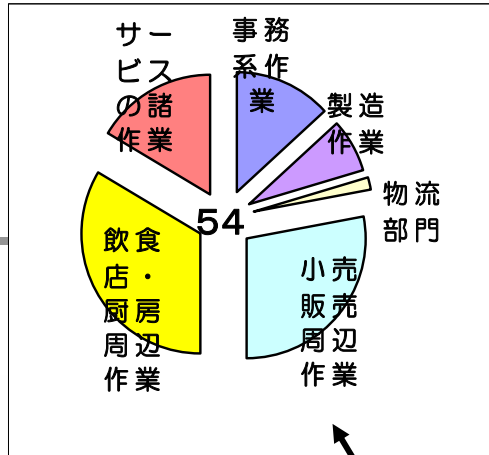
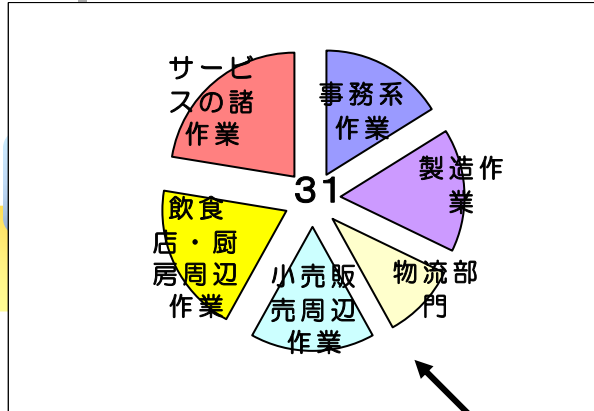


平成17年度高等部3年生の希望職種

東京合計
(総数386)



平成17年3月卒業生 ブロック別就職状況(仕事内容)



(出典：平成18年4月東京都知的障害養護学校就業促進研究協議会資料)

平成17年3月卒業生 就職状況(仕事内容)

(凡例)

事務系作業

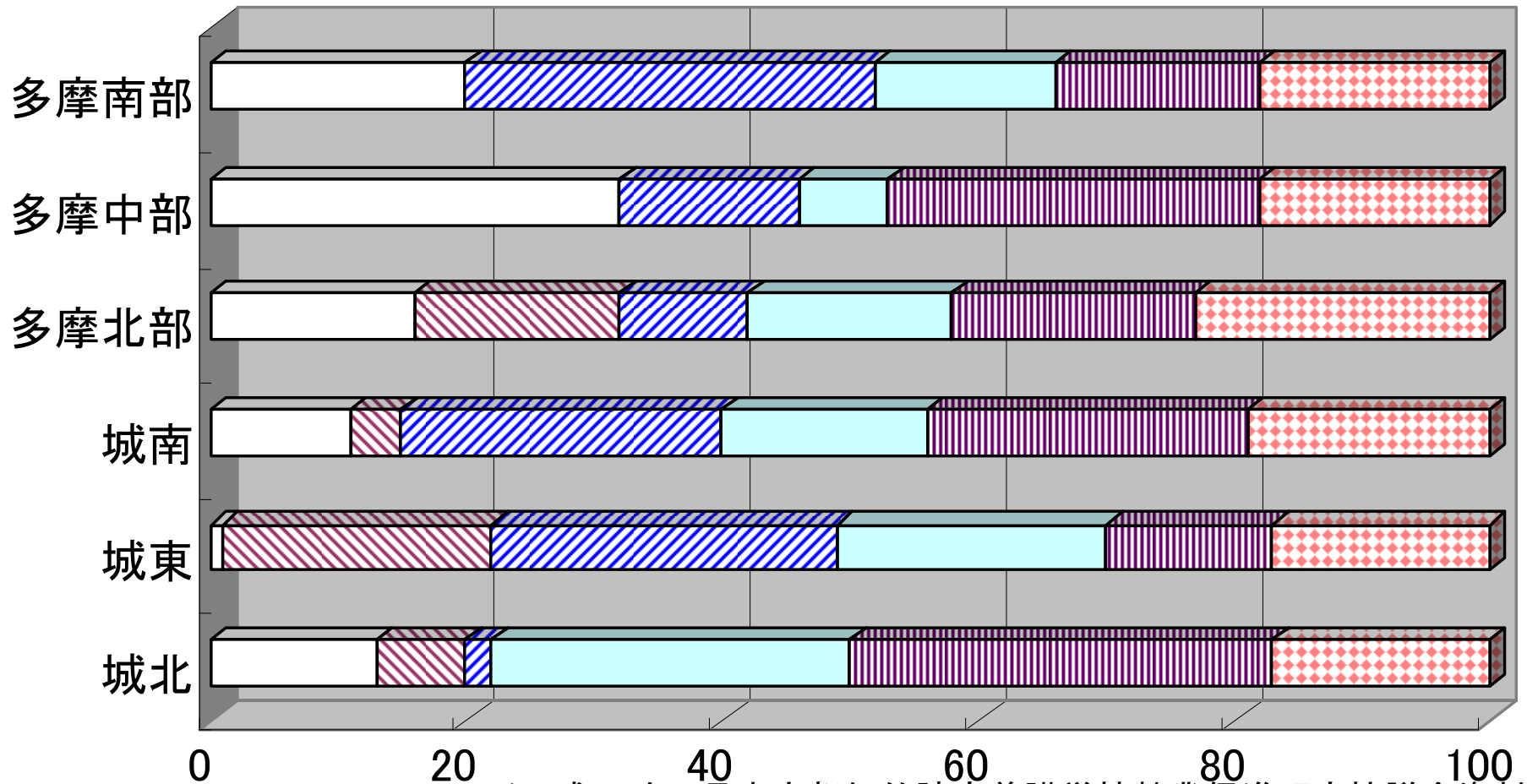
製造作業

物流部門諸作業

小売販売周辺作業

飲食店厨房周辺作業

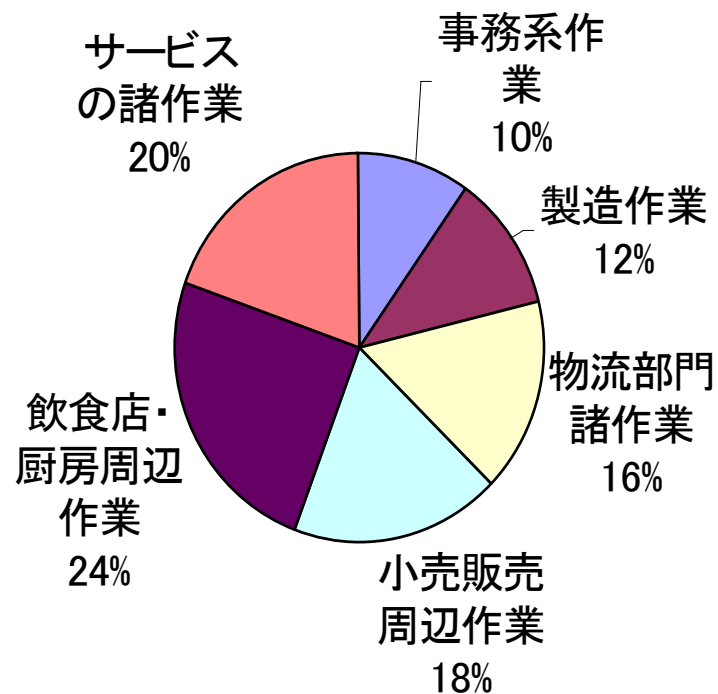
サービスの諸作業



(平成18年4月東京都知的障害養護学校就業促進研究協議会資料)

平成18年度1学期 3年生現場実習先

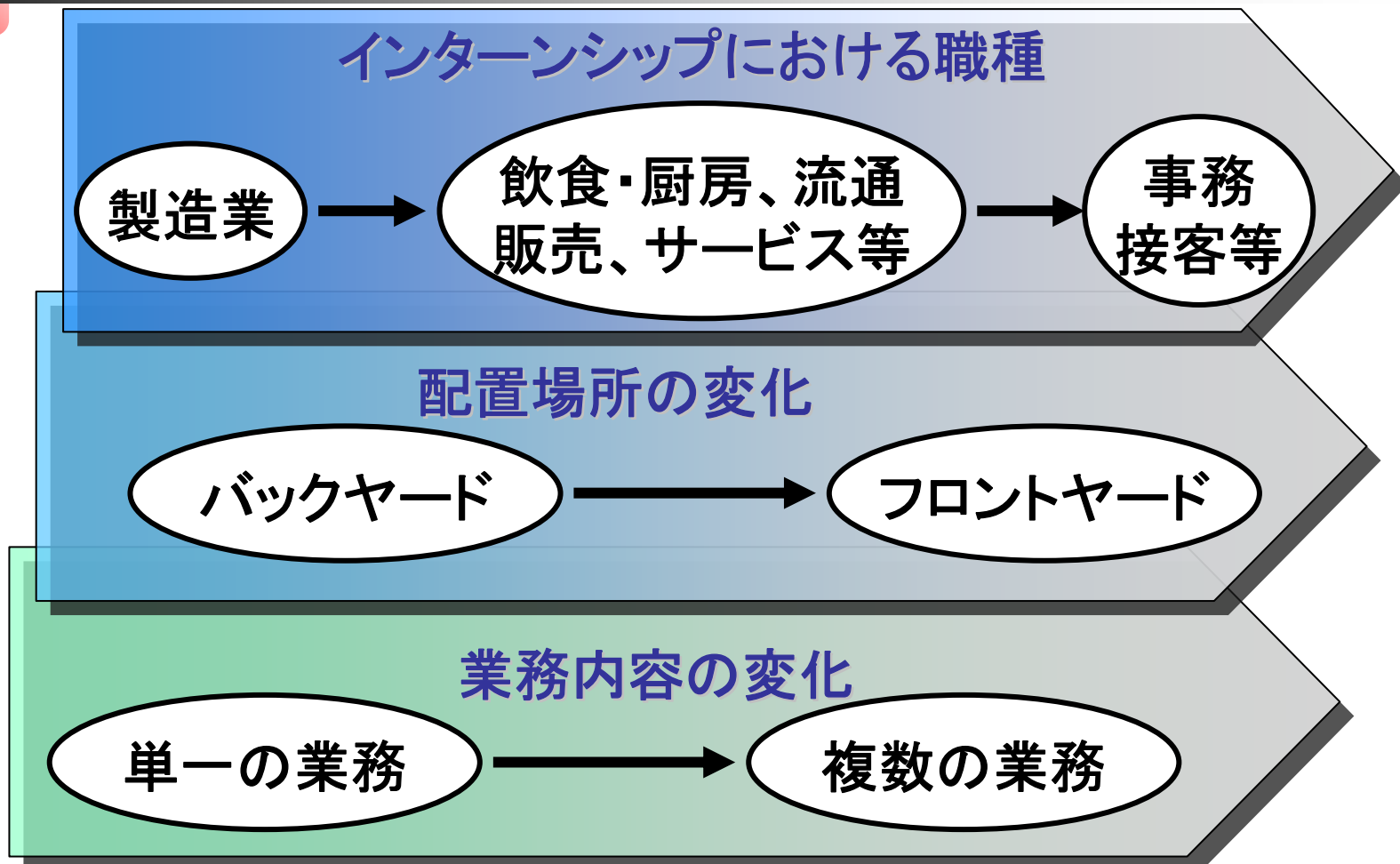
実習先分類	生徒数
事務系作業	53
製造作業	61
物流部門諸作業	84
小売販売周辺作業	97
飲食店・厨房周辺作業	131
サービスの諸作業	104
合計	530



実習先分類

平成18年6月 東京都知的障害養護学校就業促進研究協議会調査

平成18年度1学期 3年生のインターンシップ傾向



多様なインターンシップ（例）

高1

ニーズを高めるインターンシップ

- ▶ 7月 職場見学（10名程度で仕事の見学）
- ▶ 2月 1日インターンシップ（5名程度で仕事体験）

高2

体験を広げるインターンシップ

- ▶ 6月 1日インターンシップ／現場実習（2週間）
- ▶ 10月 現場実習（2週間）

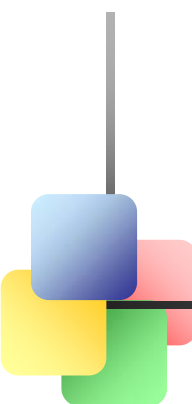
高3

進路決定に向けたインターンシップ

- ▶ 6月 現場実習（2～3週間）
- ▶ 11月 現場実習（2～3週間）

採用選考・採用決定





養護学校における支援体制

- 進路指導主事(進路指導主任)
 - 新規学校卒業者の職業紹介
(職業安定法27条により2名選任)
 - 進路指導専任の教員の配置
東京都においては、学校規模により
1～2名配置
 - 進路指導部を組織(学年1～2名)

進路指導担当教員の専門性

職業安定担当者会議(職安)(職業センター)

進路指導主事(主任)研修(教育委員会)

学校間連携による研修(校長会等)

教員の自主的な研究会・学習会



キャリア教育（職業教育）の 充実に向けて

■ 授業改善の試み

外部講師の活用

作業学習の改善

小中高の一貫

■ 進路指導の充実

主体性の育成

進路学習・進路相談の充実

多様な就業体験

ネットワークの構築



パソコンの導入について



16年度

パソコンの寄贈
→各作業班・
学級にパソコン

日常的にパソコンに触れる
機会が増えた。

15年度

パソコン1台を4作業班で
共用する例

14年度

出来高把握 ← 伝票記入 ← パソコン立ち上げ ← フォームに入カ

13年度

企業から
パソコン導入の助言



作業学習の改善

- 企業の方から改善の指導・助言
- 指示書の工夫



- 1 道具の準備
 - ① 「準備します。」
杓、シート、No5ボール、卵3個、
ガラス皿、小ゴムベラ、大さじ、
サラダ油、バニラオイル、ミキサー、
タイマー、台ふき
 - ② 指差し確認し、「準備できました」
 - ③ すべて消毒する

インターンシップ・校内実習と 協力事業所(例)

東仙さば灰干 (M)

名称	干 物
原材料名	さば(ノルウエー産)、天然塩
内容量	1枚
賞味期限	枠外に記載
保存方法	要冷蔵(10℃以下)
製造者	株式会社 東京仙印商店 東京都江東区東勝1-19-3

<http://www.tosen.co.jp>

この包装のシールは、東京都立葛飾養護学校
生徒諸君の職業実習により貼付作成されました。



4 985177 808116



袋 2E, PA



外部講師の活用・関係機関との連携

企業等アドバイザー事業

- 知的障害養護学校高等部に2名ずつ配置(H17,18)
- アドバイザーは、障害者雇用企業、福祉就労の担当者、学識経験者
- 指摘項目
 - ・安全管理
 - ・確実に効率的な作業
 - ・実態把握と指導計画
 - ・指導内容・方法
 - ・雇用市場への対応
 - ・その他

企業向けセミナー

東京都教育委員会と東京労働局の共催による

障害者雇用啓発セミナー(H17,18)



主体的な進路の自己選択・決定

アセスメントの活用

- 教材の工夫
- グループ分け

短期就業体験 インターンシップ

- 情報を共有

進路学習における 新しい学習内容

- 障害者自立支援法
- 個別移行支援計画

グループ別の学習

- 小集団
- アセスメントからの学習法

授業の展開

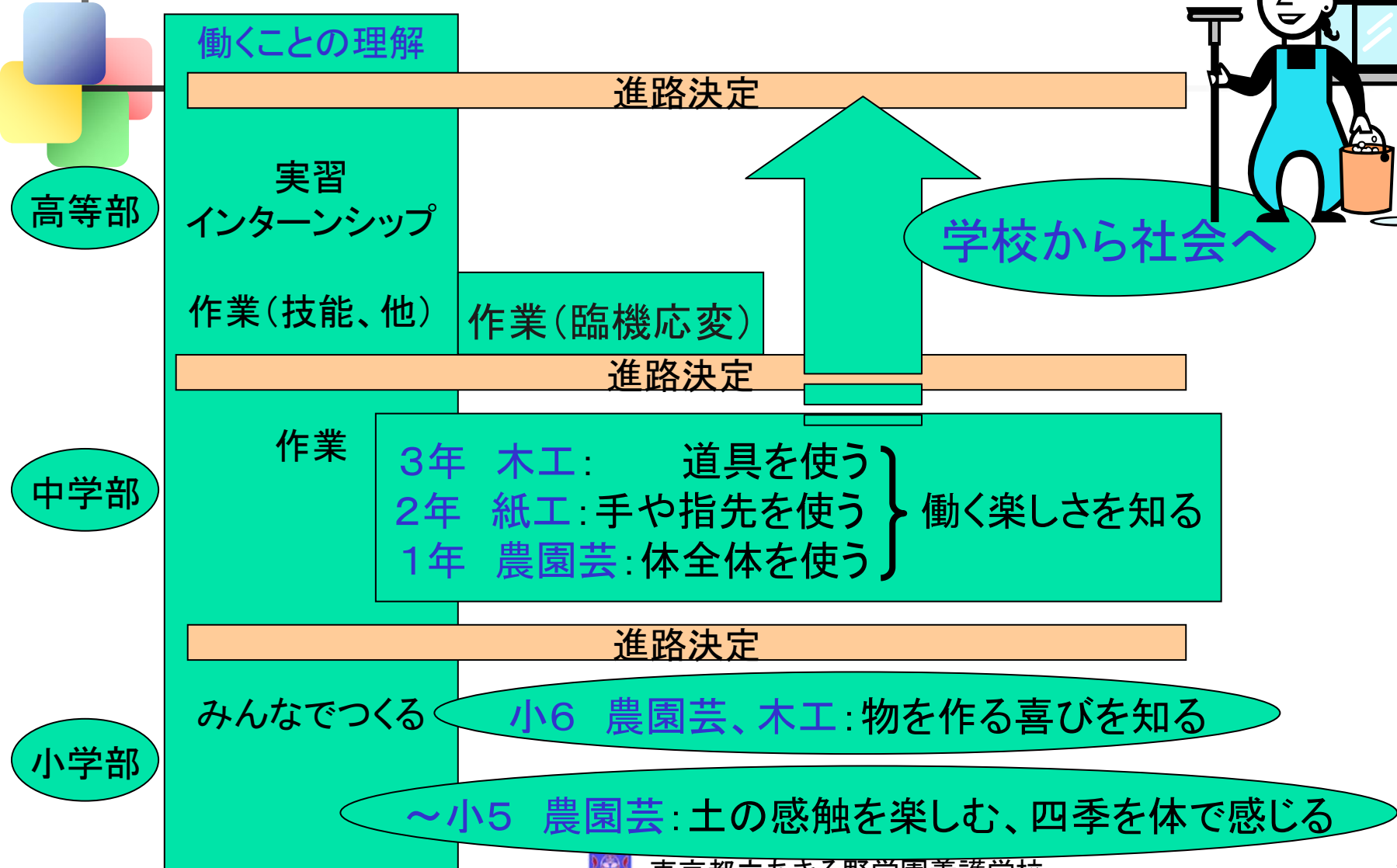
- 活動パターン
- 単元化
- 環境設定

教材の工夫

- 視覚支援
- わかりやすいワークシート



12年間の学習内容の積み上げ

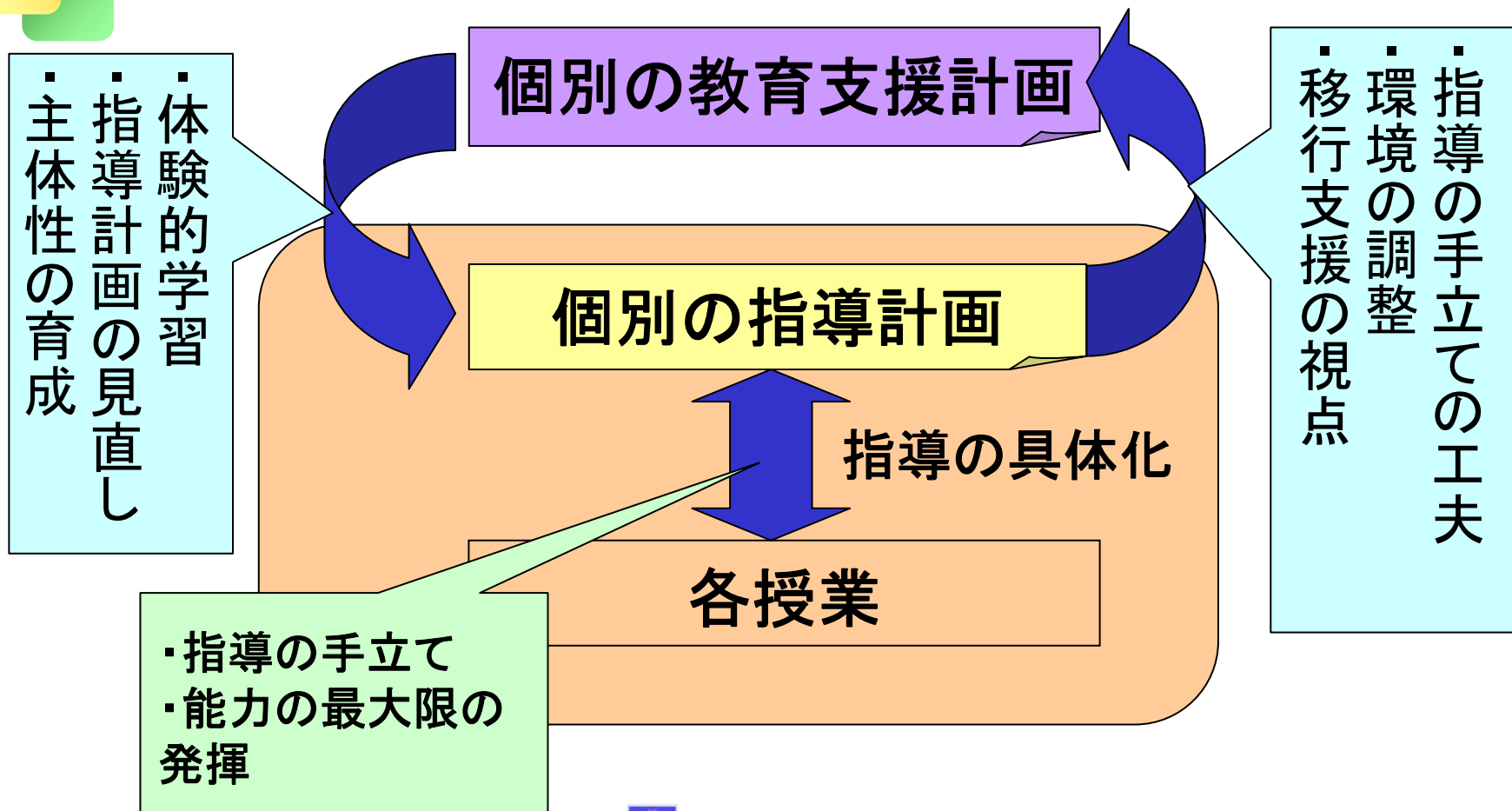


進路指導の改善

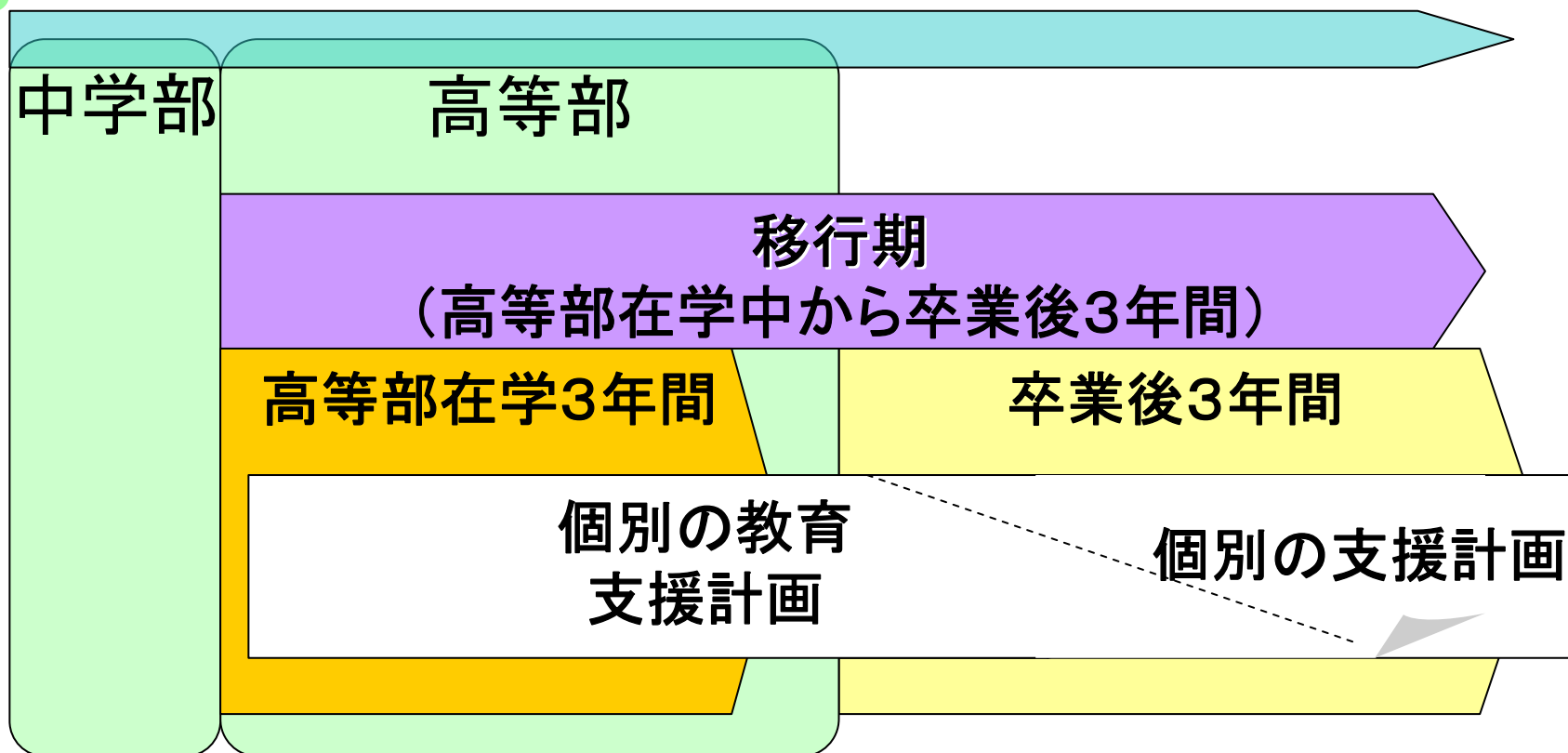
—ネットワークの構築—

- 短期就業体験の機会拡大
選択肢の体験・多様な就業体験
- 関係機関との連携
ハローワーク、地域障害者職業センター
就業・生活支援センター、福祉施設等
- 「個別の教育支援計画」の活用

「個別の教育支援計画」と 「個別の指導計画」との関係

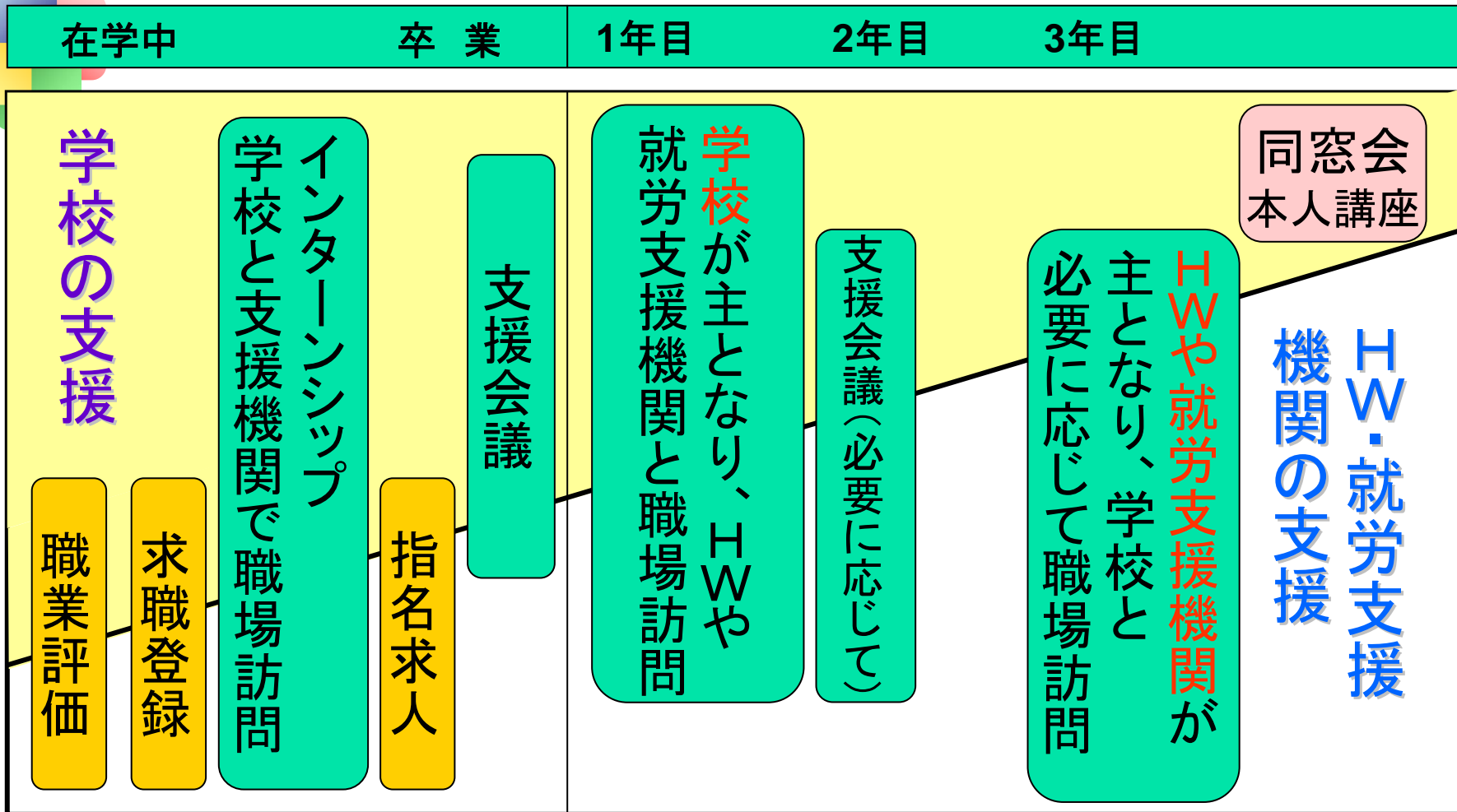


移行期の考え方



在学中から卒業後にかけての学校の支援例

支援の役割分担



在学中から卒業後にかけての支援

就労支援機関とは

- ハローワーク
- 障害者職業センター
- 地域就労支援センター
(就業・生活支援センター・
就労支援センター)

など

学校と連携して

- 就労生活の支援
- 雇用管理の支援
- 離職の支援

生活支援機関とは

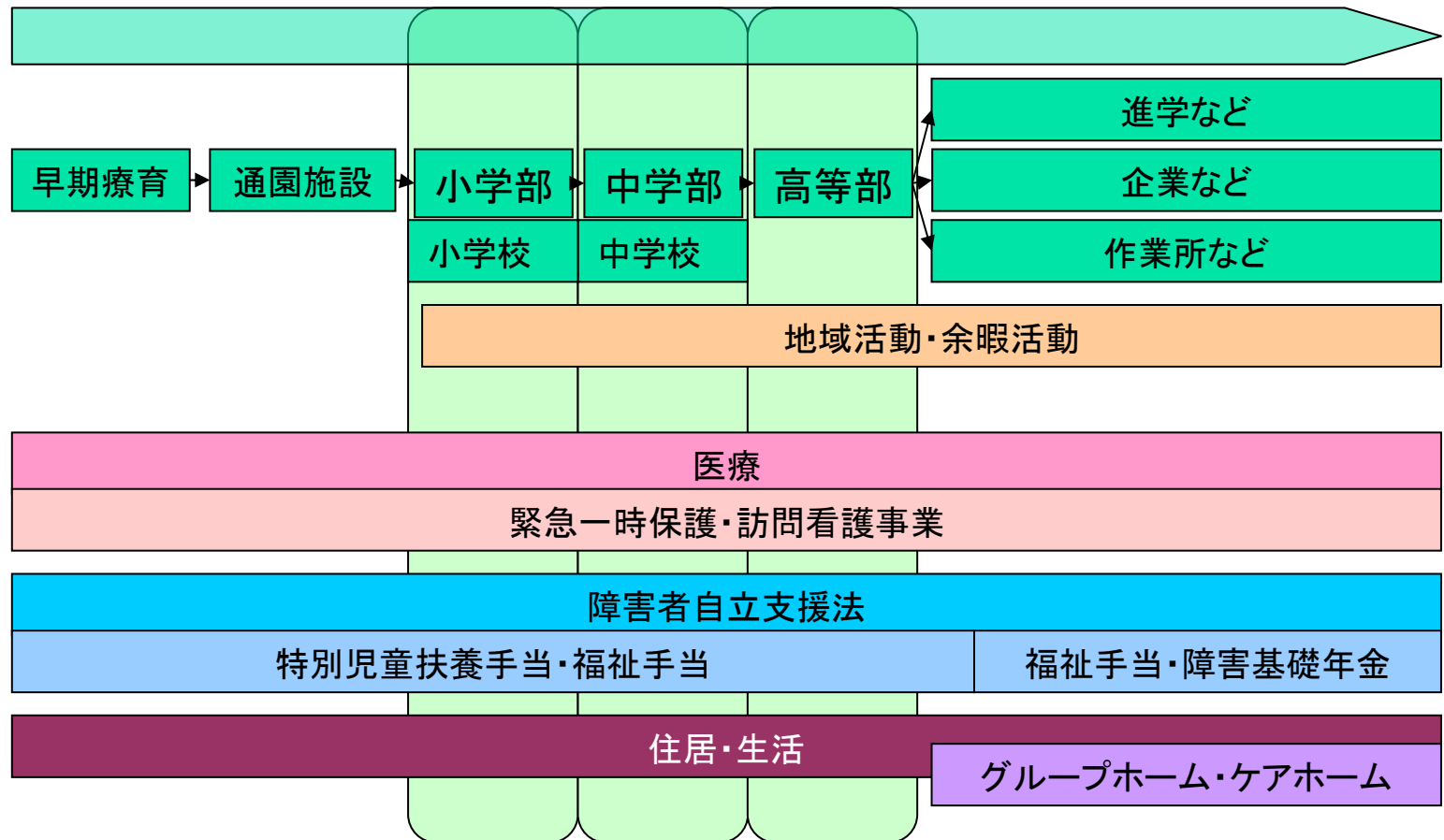
- 市区町村福祉課
- 生活支援センター
- サービス提供事業所
- 福祉施設

など

学校と連携して

- 仕事以外の生活面の支援
- 余暇支援

児童・生徒のライフステージ



個別の教育支援計画に向けて

H12・13年度

地域での生活実態の把握
(生活地図アンケートの作成)

ニーズの顕在化

地域活動の場とボランティア
が必要！

相談支援機能(サービスの提供と組み合わせ方の情報)を
学び合う場づくりが必要！



個別の教育支援計画に向けて

学校とPTAの協同で生活づくり

地域活動の場とボランティア
が必要！

相談支援機能(サービスの提供と組み合わせ方の情報)を
学び合う場づくりが必要！

夏の学校から
「あきるのクラブ」
へ
(H14~)

ボランティア養成講座

公開講座
(H10~)

本人講座

支援費制度施行
(H15)

保護者の学びの場

地区別懇談会(H14~)

進路実習
懇談会
(H10~)

「あきる野学園安全ネット
を作る会」の
発足(H16~)

関係機関の連絡調整会議に発
展させていくもの



本人のプロフィール				記入者 ()	
氏名		フリガナ		男・女	生年月日
住所				連絡先	
保護者		住所	〒 同上		連絡先 同上
出身校	あきる野学園養護学校		担当者		連絡先 042-558-0222
将来の生活についての希望					
現在の生活と将来の生活についての希望					
必要と思われる支援内容					
【支援の具体化】 ネットワークによる役割分担					
【新たなニーズ】 支援計画の修正・評価					
具体的支援					
家庭生活	進路先の生活	余暇・地域生活	医療・健康	出身学校の役割	
担当者:	担当者:	担当者:	担当者:	担当者:	
連絡先:	連絡先:	連絡先:	連絡先:	連絡先:	
内容:	内容:	内容:	内容:	内容:	
家庭生活	生活づくりの支援		余暇・地域生活		
○支援費制度 家事援助			○支援費制度 移動介護 外出支援 ○地域活動 あきるのク		
備考:					
進路先の生活					
働く力・日中活動 移動能力 通所・通勤 コミュニケーション 基本的な生活習慣					
授業づくり					

私は、以下の支援を受けること
平成 年 月 日

※この支援計画は、関係者の合意であり、契約ではありません。

課題と今後の展望

在学中からの関係機関との連携による
児童・生徒一人ひとりのネットワークの構築に向けて

①地域の実情に合わせたネットワークの統合・調整を！

- ・障害者雇用連絡会議
- ・サービス調整会議
- ・特別支援連携協議会
- ・自立支援協議会 等

②ハローワークとの連携の充実を！

- ・学卒部門
- ・専門援助部門(特別援助部門)
- ・雇用指導官



③企業（協力事業所）への支援を！

- ・実習（就業体験、校内実習等）への協力には、雇用と同様にみなすポイントを検討
- ・多様な就業形態へと変化する社会に対応した、短時間労働についての検討

④進路担当教員の専門性向上を！

- ・研修機会の充実と資格制度の検討
職業安定法、障害者雇用促進法、障害者自立支援法等の確かな理解をあたりに！
業務分担として、組織端末、携帯電話、名刺等の所有



⑤学校卒業後から成人までの支援の充実を！

- ・生活上の支援を必要とする18歳から20歳までの卒業生への所得保障など

⑥公的機関による雇用及び実習受入れの拡大を！

- ・ハローワークにおける雇用（期限付き）
- ・厚生労働省、東京都教育委員会における実習
など

地域に応じたモデルを増やすとともに、生徒及び卒業生のキャリアとして位置付く

